

新基地建設反対名護共同センターニュース

ゲート前の座り込み 3000日(8年余)に!



写真上は、ゲート前で「違法工事中止を!」と訴える市民。写真下は赤嶺氏(左端)ら県選出国会議員(写真・ヘリ基地反対協のブログより)

2014年7月6日から始まったキャンプ・シユワブゲート前での座り込みが、9月22日で3000日(8年余)となりました。この日、約1500人の市民がゲート前に結集。雨の日も炎天下でも座り込みを続けた粘り強い県民の闘いが新基地建設を遅らせ、新基地建設ストップの展望を切り開いていると、確信を新たにしました。ヘリ基地反対協の仲本興真事務局長は「基地は戦争と犯罪、麻薬の温床です。沖縄にこれ以上の基地はいらない。基地なくして沖縄の自立的発展を勝ち取ろう。決意を新たにゲート前と海上でのたたかいを続けよう」と訴えました。県選出の野党国会議員でつくる「うりずんの会」のメンバー全員が参加。赤嶺政賢衆院議員は「辺野古ゲート前の皆さんのたたかいがあったからこそ県民が、辺野古新基地ノーの審判を3回の知事選と県民投票で下すことができた」と激励しました。

ゲート前のたたかいが知事選勝利の力

豊見城市長選・山川ひとし氏総決起大会開く



10月9日投開票の豊見城市長選で2期目をめざす山川ひとし氏は23日、同市内で総決起大会を開催しました。玉城デニー知事が「ブレない民意を市長選でも確認を」と激励、会場は熱気に包まれました。山川氏は「市民が主人公の市政を続け

ます」と訴えました。保育士など市民も登壇し「子育て日本一の市になってほしい」と話し、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員ら県選出野党国会議員、那覇市長選予定候補の翁長雄治氏が激励しました。(写真提供・「しんぶん赤旗」)

ゲート前県民大行動へ参加を
主催 オール沖縄会議
日時 10月1日(土) 午前11時
場所 キャンプ・シユワブゲート前
※玉城デニー知事の参加が決定!

那覇市長選勝利へ オナガ氏が事務所開き

「国葬」強行の岸田政権をご臨終に
国葬当日のゲート前の27日、10数人が座り込み。県民は「国葬反対」のパネルを掲げたり、「国葬の岸田政権をご臨終に追い込もう」など国葬を批判する発言が相次ぎました。



子育て日本一の那覇市めざす
10月23日投票の那覇市長選に立候補を表明した前県議の翁長雄治氏の選挙母体「ひやみかちうまんちゆの会」が26日、那覇市内で事務所開きをしました。オナガ氏は「政府に協力しなければ予算を減らすという間違った政治の在り方を変えていく」「子育て日本一の那覇市をめざす」と訴えました。県選出野党国会議員を代表して赤嶺政賢衆院議員が「岸田内閣の支持率はどんどん下がっている。自民党に審判を下す絶好のチャンスだ」と話しました。



事務所開きで最後に「頑張ろう三唱」(写真中央が翁長氏)する参加者。左内は決意表明する翁長氏。